

その要因とは、何かをお話ししていきます。

家計の変革をする意味とは

家計とは、

家庭を運営していくための
収入と支出、それに貯蓄のこととします。

資産も含めても良いのですが、

今回のテーマをより鮮明なものにするために、
主に、収入、支出それに貯蓄を考えていくことにします。

そこで家計を変革するとは、
具体的に一言で言えば、

現在の収入と支出それに貯蓄を変えていくことです。

単純に収入と支出が変われば、
貯蓄額も変わります。

例えば、住宅購入の頭金を貯めるなど、
貯蓄の目的額を決めることによって、

家計の収支を変えることが必要になるかもしれません。

変える場合には、

現在の

- ・ 定期的な収入の額
- ・ 定期的な支出額
- ・ 貯蓄額

以上の具体的な金額の確認です。

また、この3つしか変える要素はないのです。

貯蓄額については、
何のために貯蓄をするのか、
再度確認しておいてもよいでしょう。

そして、家計の改革することで、
その成果が表れるのは、
貯蓄額の増加ということです。

改革の目的が、
例えば賃貸住宅を
今住んでいるところより家賃の高いところに引っ越すなど、
支出額を増やすのであれば、

単純に収入を増やせばできることですので、
この場合は、今回のテーマである
改革には当たりません。

あくまで、改革をして
その結果、貯蓄額を増やすこととします。

考慮すべき要因とは

収入を増やして支出を減らせば、
貯蓄額は増えます。

しかし、多くの方はご存知のように、
そんなに簡単ではありません。

なぜ簡単ではないのは、

内的と外的の
2つの要因を考慮して
家計を運営することが必要だからです。

それでは、この2つの要因をひとつずつ
見ていくことにします。

(1) 内的要因

家計を変革するための内的な要因は、
2つあります。

ひとつ目は、
家計収支を見直し、
無駄な支出を減らすことです。

特に支出を減らすことは、
よく言われていることですが、

ダイエットをして体重を減らしても
目標の期間で目標の体重になると

その後、数か月後にはリバウンドしてしまう。

と同じように、

家計支出削減計画は、

余程、綿密に実行し得る計画を立て実行しないと
絵にかいたモチに終わってしまいます。

例えば、
保険を見直したことによって、
毎月の保険料は安くなりました。

そこで、これまで支払っていた保険料と
安くなった保険料との差額をどうするか？

特に、計画がない場合は、
ただ浪費をする可能性があります。

そこで、その分のお金は、
毎月定期預金をするなど、
すぐには使えない工夫をしておくところが
大切なのです。

内的な要因のふたつ目は、
収入も増やすことです。

単純に今までの生活費を維持して、
収入が増えれば、
その分貯蓄額も増えます。

最近では、
企業によって、
副業も認められる傾向にあります。

そこで、目的を持った貯蓄額を増やすために、
また、老後の生活の年金収入の補助的な収入として、

生涯収入に成り得る
ご自身の「個人事業」を、
作っておくことも良いでしょう。

そこまで行かなくとも、
無駄に使わないことでしょう。

家計の余剰金は、

問答無用で貯蓄をする。

ご家庭で、このような実行可能なルールを作っておいてもよいでしょう。

(2) 外的要因

とは言っても、
いくらご家庭で、
お金を無駄に使わない貯蓄を増やす
ルールを作って実行しても、

外的な要因で、
その実行計画に支障が出てくる場合があります。

そこで、家計を改革する外的要因に、
お話を進めます。

例えば、消費税率のアップです。

今年の10月には、
8%から10%と2%のアップの予定です。

一万円の物を購入する時、
現在の消費税額は800円
それが1000円になり200円アップします。

この200円を

家計収支のなかで、
単に用途不明金の範囲内と認識するか、
支出が増大したととらえるのか、

それは、そのご家庭ごとの考え方で
見解も違ってくるでしょう。

ただ、消費税率のアップに限らず、
現在でも、食料品などでも
商品価格が値上がっています。

このような外的要因にどのように対応するのか、

単に毎月の小遣いを減らすのか

貯蓄額を減らしていくのか

貯蓄の目標を住宅購入のための
頭金を貯めるのであれば、

頭金を減額して、
購入する住宅の価格を下げるのか、

様々な方法が考えられます。

ここで大切なことは、

ご自身が、
今後生涯の家計収支のシミュレーションをしておけば、
家計の軸が完成できます。

ある日突然、
家計を揺さぶるような外的要因が発生しても、

今後、どのように家計運営をしていくか、
軸ができていますので、

言い換えれば、
この先の家計収支と貯蓄の推移が
把握できていますので、

早期に家計を建て直す、
その方法が選択できるということです。

家計の変革が必要と思った時は警戒

家計収支が順調でも、

貯蓄額を定期的に把握しておかないと、

後に浪費を悔やんでも
取り返しがつかなくなる場合もあります。

そもそも、家計を見直す、
支出を締めなくてはと思う時には、

家計が悪い方に動き出している
その変調をとらえた時ともいえるでしょう。

そのような時期ではなく
家計収支や貯蓄も順調にできている時に、

さらに貯蓄額を増やすことを

定期的に心掛けておけば、

つまり、変革する心がまえを持てば、
無駄使いと浪費を定期的にチェックができ、
また、たとえ内的外的要因に、
家計が襲われたときにも、
慌てることなく、
そのご家庭に適した方法を
容易に見つけることができるでしょう。

■「人生の添乗員（R）」からのワンポイントメッセージ

家計収支が生涯順調なご家庭は、
万一の場合、
その時のための対策があるからです。

■人生の添乗員（R）牧野寿和のプロフィール

日本で唯一「人生の添乗員（R）」を名乗れる
公正中立な独立系ファイナンシャルプランナー
開業 16 年目

1958 年 名古屋市生まれ、大学（東海大学卒業）以外は、名古屋で生活をする。

1982 年～2001 年 旅行会社に勤務。業務で世界各地を廻っていた時、
日本の方と他の国の方々のお金との付き合い方の違いを感じていた。
そんな時渡米した折に、初めてファイナンシャルプランナーの存在を知り、
日本でもこの業務の必要性を認識する。

2003 年 牧野 FP 事務所を創業。
2018 年から牧野 F P 事務所合同会社を設立。

これまでに、延べ 900 件以上の様々な相談に対応。

現在は、相談者へのプランニングの助言と提案を主な業務とし、

相談者に、安心できる生活が送れるように、

丁寧な業務を心がけている。

<保有資格>

- ・ NPO 法人日本ファイナンシャルプランナーズ（FP）協会 CFP（R）認定者
- ・ 1 級ファイナンシャル・プランニング技能士（資産設計提案業務）
- ・ 福祉住環境コーディネーター
- ・ 総合旅行業務取扱管理者 など

<取材協力>

メ～テレ（名古屋テレビ）「UP！」

<出版>

「銀行も不動産屋も絶対教えてくれない！ 頭金ゼロでムリなく家を買う方法」河出書房新社

なぜ、「人生の添乗員（R）」なのか？

詳しいプロフィールはこちらから

http://www.makino-fp.com/documents/fpmakino_009.pdf

現在、相談を受けている方は、名古屋市内はもとより
愛知、岐阜、三重県、
ご紹介をいただいて、首都圏や関西にも
足を延ばす機会が増えてきました。

「人生の添乗員（R）」どこまでも行きます。

相談者にとって、他人を気にすることなく、
ご自身にとって
有益な提案を心がけています。

*:

■編集後記

*:

家計は、興味を持つだけに留まらず、
実際に携わることです。

折角携わるのであれば、

悔いのないように奥深くまで、

また身近なものとして、

携わって行きたいものです。

【人生の添乗員(R)】からのワンポイントメッセージ

来週もご愛読のほど、
よろしく願い申し上げます。

「人生の添乗員」「人生の行程表」は牧野寿和の登録商標です

■ 【人生の添乗員(R)】からのワンポイントメッセージ

発行：

牧野FP事務所合同会社 代表社員 牧野寿和
〒467-0823 名古屋市瑞穂区津賀田町2-86

■登録・解除は、ご自身でお願いいたします。

こちらから出来ます。

<http://www.mag2.com/m/0001575058.html>

■本メルマガに関するご意見・お問い合わせはこちらまで
お願いいたします

E-MAIL : makino.fp@beach.ocn.ne.jp

牧野FP事務所合同会社 公式サイト : <http://www.makino-fp.com>

■記事内容に関してのトラブル等について当方では一切責任を負いかねます。
ご自身の責任でご判断下さい。
